

令和7年度 長崎県立壱岐高等学校 学校評議委員会 報告

- 1 評価の実施期日 第1回学校評議委員会 令和7年6月18日(水)
第2回学校評議委員会 令和8年2月9日(月)

2 学校評議委員会の内容

- ・ 現況及び学校評価結果等
- ・ 特色ある教育活動等
- ・ 生徒の生活概況等
- ・ 各学年の進路概況

3 委員からの質問と学校からの回答等

<第1回学校評議委員会>

質問(○:質問、●:回答)
○壱岐高校の柔道場使用について、6月以降、地域団体の利用に制限が入るのか?また、今後そのような可能性があるのか。
●可能な範囲で地域に開放できるように校内でも調整している。地域への協力をしていきたい。
○生徒数の減少により、教育活動規模が縮小せざるを得ない状況が予想される。困り感はないか。
●<事務>生徒派遣費のPTA補助額の削減 <生徒支援部>部設置数は変わらないものの部員数が減少しており、部の運営が難しくなっている。 <総務部>入学者選抜において、定員割れの状況が続き選抜ができない状況が続いている。 <キャリア支援>共通テスト受験者数の減少により、離島会場の確保が心配。
○部活動の地域以降は進んでいるのか。
●男子バスケットボール部・女子卓球部・野球部・茶道部に外部指導員として指導を依頼している。県教育委員会の指導の下、地域の状況を鑑みながら進めていきたい。
○関東圏への進学者数が少ない印象である。現状を教えてください。
●地理的要因も大きいですが、以前より、福岡県への進学を考える生徒・保護者等が多い傾向にある。 <要望>共通テストの本校会場については、確保できるように努力をしてほしい。
○いじめについて対応はどうだろうか。
●生活アンケート(年に6回実施)を中心に、生徒の悩みをひろいあげ、対応している。いじめの対応については、いじめ対策委員会を開催し、組織的な対応をしている。
○インターンシップの充実をお願いしたい。ミスマッチを防ぐ手立てにもなる。
●本校では、就職希望者に対して6月下旬から商工会議所の協力を得て、インターンシップを実施している。より充実できるように取り組んでいきたい。

○高校橋から新道停留所までの道路において、路側帯からはみ出して歩いている生徒が見受けられる。事故につながらないか心配である。

● 考査期間中に生徒支援部員で立番を行い状況確認したい。その後、全校集会での呼びかけや teams で呼びかけたい。

< 第 2 回学校評議委員会 >

質問 (○: 質問、●: 回答)

○ 図書館の利用について

文化祭を参観に来校した際、図書館を訪れたが、閉館していた。

開館している時間帯を教えてください。

● 開館時間帯は、昼休みと放課後である。

● 文化祭の時にも開館し、外部の方も入館できるように対応したい。

○ 学校評価分析に、「寺子屋」とあるが、こういった活動なのか。

● 学習意欲の高い生徒に対して、授業では扱わない高いレベルの問題を取り扱っている。生徒の思考力を高める一助としている。学年ごとに実施し、20名から30名参加している。

○ 進路に関する情報提供について、肯定的な意見を示した方の割合が、8割を下回っていた点について、保護者への意識づけも大切であると考え。保護者間での発言から、保護者側が、進路に関する支援を学校任せにしているのではないかと感じる。先生たちからのアプローチを聞き流している保護者もいるのではないだろうか。

○ 今年度は、発掘調査を取りやめて、原島・大島への巡検を行ったとあるが、どのような内容であったのか教えてください。

● 原島・大島は、歴史的に重要な場所であり、昔は多くの人々が生活をしていた。自然も手つかずのまま、少し掘り起こせば陶器が発掘されるため、コース巡検には適した場所であると考え、巡検場所として選定した。

○ 令和8年度からポロシャツ・ハーフパンツ導入とあるが、どのようなものか教えてください。

● ハーフパンツは、バスケットボール部のチームジャージのような形態。ポロシャツは、透けない生地、速乾性やデザインも考慮して選定した。制服のスラックスとポロシャツ、ハーフパンツとポロシャツの着用も認めている。

○ 本校の進路支援に関するお礼について。

令和7年度 壱岐高校【学校評価】

生徒・全体		選択肢	評価の割合(%)		増減
番号	質問		R7	R6	
1	今年度4月から現在までの間に、図書館を利用した事がありますか。	ある	▼60.6	68.0	-7.4
		ない	39.4	32.0	7.4
2	あなたは学習と部活動の両立に努力しており、今後も継続して頑張りたいと思いますか。(3年生は「学習と部活動の両立に努力することができましたか」で答えてください。)	はい	◎93.4	87.3	6.1
		いいえ	6.6	12.7	-6.1
3	あなたは、生徒会が関わる学校行事(文化祭、体育祭、競技大会、生徒総会など)を通して、主体性と協調性が身についたと思いますか。	思う	◎97.6	95.4	2.2
		思わない	2.4	4.6	-2.2
4	あなたは、生徒会が関わる学校行事を通して、自身にリーダーシップとフォロワーシップが育ったと感じますか。	感じる	▼75.6	68.3	7.3
		感じない	24.4	31.7	-7.3
5	あなたは、生徒会が関わる学校行事を通して、思いやりの心を育み、高校生の在り方、生き方について考えましたか。	はい	◎95.3	88.2	7.1
		いいえ	4.7	11.8	-7.1
6	あなたは、生徒会が関わる学校行事に対して、主体的に関わっていると思いますか。	はい	◎84.5	76.1	8.4
		いいえ	15.5	23.9	-8.4
7	一年間の様々な活動を通して、クラスの和が生まれつつあると思いますか。	はい	◎95.5	94.8	0.7
		いいえ	4.5	5.2	-0.7
8	あなたは、周囲や相手のことを思い合って生活できていると思いますか。	思う	◎98.2		
		思わない	1.8		
9	あなたは、日頃からきちんとしたさわやかな挨拶ができていると思いますか。	出来ている	◎89.0	84.7	4.3
		出来ていない	11	15.3	-4.3
10	あなたは、地域清掃や募金活動など、機会があればボランティア活動に取り組んでみたいと思いますか。	思う	◎89.8	88.5	1.3
		思わない	10.2	11.5	-1.3
11	あなたは、毎日15分間の清掃活動に積極的に取り組んでいますか。	取り組んでいる	◎98.4	96.5	1.9
		取り組んでいない	1.6	3.5	-1.9
12	あなたは、学校生活においてゴミの分別をしっかりと行っていますか。	行っている	◎92.4	92.8	-0.4
		行っていない	7.6	7.2	0.4
13	あなたは、以前より少しでも節電・節水に取り組んでみたいと思うようになりましたか。	思うようになった	◎84.3	86.2	-1.9
		思うようになっていない	15.7	13.8	1.9
14	あなたはこれまでに計画的自主的学習習慣を確立できましたか。	確立できた	25.7		
		ほぼ確立できた	▼68.5 42.8		
		あまり確立できていない	28.9		
		確立できていない	2.6		
15	あなたは授業がどの程度わかりますか。	よくわかる	20.7		
		ほぼわかる	◎82.9 62.2		
		あまりわからない	15		
		わからない	2.1		
16	虹の原特別支援学校高等部壱岐分校の生徒と、様々な学校行事を通して交流を深められたと思いますか。	思う	◎85.0	82.4	2.6
		思わない	15	17.6	-2.6
17	担任や教科担当者との面談を通じて進路実現に向けての適切な指導を受けましたか。	受けた	◎95.8	95.1	0.7
		受けなかった	4.2	4.9	-0.7
18	学校での進路に対する学習(文理選択、高大連携、進路ガイダンス、志望理由書作成、社会人講話など)は、自己の進路目標実現に役立ちましたか。	役立った	◎95.3		
		役立たなかった	3.8		
19	「教養の時間」は、世の中の動きを知り、自身の知識・理解を深めるために役立ちましたか。	役立った	◎84.0		
		役立たなかった	16		
20	「Englishの時間」を通して、以前より前向きに英語学習に取り組むようになりましたか。	そう思う	▼72.2		
		思わない	27.8		
21	総合的な探究の時間を通して、地域課題を見つめることで自己の進路に対する考えを深めることができましたか。	深まった	◎92.1		
		深まらなかった	7.9		

※1 80%以上のものに◎、80%未満のものに▼をつけています。

※2 R6の欄に斜線が引いているのは、よりよいアンケート実施を目的として、R7アンケートから選択肢を変更したためです。

※3 四捨五入をしているため、合計が100%となっていない場合があります。

令和7年度 壱岐高校【学校評価】

保護者・全体		評価の割合(%)					【R6】	
番号	質問	①	②	①+②	③	④	①+②	前年比
1	壱岐高校生は、さわやかな挨拶ができています。	15.5	70.5	◎86.0	13.0	0.9	85.7	0.3
2	壱岐高校生は、基本的な生活習慣の確立ができています。	13.7	72.4	◎86.0	13.7	0.3	88.8	-2.8
3	壱岐高校生は、交通マナーを守っている。	22.4	68.6	◎90.9	9.0	0.0	92.9	-2.0
4	壱岐高校生は、学習に意欲的に取り組んでいる。	16.8	65.8	◎82.5	16.8	0.6	86.3	-3.8
5	壱岐高校生は、部活動に意欲的に取り組んでいる。	43.8	52.5	◎96.2	3.1	0.6	98.3	-2.1
6	壱岐高校生は、学校行事に意欲的に取り組んでいる。	41.0	56.8	◎97.8	1.9	0.3	99.3	-1.5
7	壱岐高校生は、地域行事やボランティア活動に意欲的に取り組んでいる。	22.7	66.5	◎89.1	9.9	0.9	89.1	0.0
8	壱岐高のスクールミッションや育成したい生徒像は、納得できる内容である。	14.9	79.8	◎94.8	5.3	0.0	92.7	2.1
9	壱岐高の進路指導(受験指導、情報提供等)に満足している。	16.8	60.6	▼77.5	19.6	3.1	80.2	-2.7
10	壱岐高の生徒指導(言葉遣い、生活態度等)に満足している。	13.7	70.2	◎83.8	14.9	1.2	86.3	-2.5
11	壱岐高の学習指導(授業、質問対応等)に満足している。	12.7	75.8	◎88.5	10.9	0.6	86.9	1.6
12	壱岐高の情報提供(HP、学校だより等)に満足している。	20.8	68.3	◎89.1	10.2	0.6	92	-2.9
13	壱岐高の教育環境(施設・設備等)に満足している。	16.5	69.6	◎86.0	11.8	2.2	89.1	-3.1
14	壱岐高の安全管理(防災・危険防止等)に満足している。	14.3	79.8	◎94.1	5.0	0.9	94.3	-0.2
15	壱岐高の地域(PTA、同窓会等)との連携に満足している。	14.3	71.1	◎85.3	13.7	0.9	87.2	-1.9
16	壱岐高の人権教育(いじめや暴力の根絶)に満足している。	13.7	72.0	◎85.7	12.7	1.6	90.7	-5.0
17	壱岐高の生徒支援(個別面談、悩み相談等)に満足している。	16.8	67.7	◎84.7	13.7	1.9	88.1	-3.4
18	壱岐高の外部(保護者、地域等)への対応に満足している。	14.0	71.7	◎86.0	12.7	1.6	89.1	-3.1

※1 評価①:よくあてはまる、評価②:あてはまる、評価③:あまりあてはまらない、評価④:あてはまらない。
 ※2 評価①+②の合計が、80%以上のものに◎、80%未満のものに▼をつけています。
 ※3 四捨五入をしているため、合計が100%となっていない場合があります。

令和7年度 壱岐高校【学校評価】

職員・全体		選択肢	評価の割合(%)		
			R7	R6	
番号	質問				
1	それぞれの進路目標に応じた学力が身につく授業を展開しているか。	① 展開している	◎100	26.0	32.0
		② 概ね展開している		74.0	65.0
		③ あまり展開していない	0.0		
		④ まったく展開していない	0.0	3.0	
2	ICT機器を活用した学習活動を推進し、わかる授業や学ぶ楽しさを実感できる授業を実施しているか。	① 実施している	◎89	20.0	26.0
		② 概ね実施している		69.0	65.0
		③ あまり実施していない	11.0		
		④ まったく実施していない	0.0	9.0	
3	「主体的・対話的で深い学び」を各授業で実現し、主体的な「思考・判断・行動」を育む学びを行っているか。	① 行っている	◎95	29.0	29.0
		② 概ね行っている		66.0	71.0
		③ あまり行っていない	6.0		
		④ まったく行っていない	0.0	0.0	
4	時間を守る、身だしなみを整える・清掃活動に取り組む、挨拶を行う等の「凡事徹底」を通して、基本的な生活習慣を確立する指導を行っているか。	① 行っている	◎93	48.0	46.0
		② 概ね行っている		45.0	54.0
		③ あまり行っていない	7.0		
		④ まったく行っていない	0.0	0.0	
5	いじめを絶対に許さず、仲間を支える態度や、異なる価値観を尊重し、他者の特性への理解と思いやりの心を育む指導を行っているか。	① 行っている	◎100	75.0	85.0
		② 概ね行っている		25.0	15.0
		③ あまり行っていない	0.0		
		④ まったく行っていない	0.0	0.0	
6	適切な健康教育、「命の教育」を推進し、安全意識や生命尊重の精神を育む指導を行っているか。	① 行っている	◎95	46.0	65.0
		② 概ね行っている		49.0	35.0
		③ あまり行っていない	6.0		
		④ まったく行っていない	0.0	0.0	
7	学校の施設・設備の安全点検に努め、安心して生活できる学校づくりを推進しているか。	① 推進している	◎100	69.0	69.0
		② 概ね推進している		31.0	31.0
		③ あまり推進していない	0.0		
		④ まったく推進していない	0.0	0.0	
8	「将来の生き方」を考える視点を持たせ、主体的に進路選択ができるように、計画的・組織的な進路指導を行っているか。	① 行っている	◎98	37.0	38.0
		② 概ね行っている		51.0	59.0
		③ あまり行っていない	11.0		
		④ まったく行っていない	0.0	3.0	
9	読書や外部からの講師の講話等を通して、勤労観・職業観を形成し、生涯に渡るキャリア形成に必要な能力・態度を育成する教育を実施しているか。	① 実施している	◎91	40.0	24.0
		② 概ね実施している		51.0	71.0
		③ あまり実施していない	9.0		
		④ まったく実施していない	0.0	6.0	
10	部活動を通して、たくましい心身や協調性・社会性を身につけさせ、目標を高くし、その実現を目指して努力する精神を育成しているか。	① 育成している	◎94	51.0	65.0
		② 概ね育成している		43.0	29.0
		③ あまり育成していない	6.0		
		④ まったく育成していない	0.0	6.0	

職員・全体		選択肢	評価の割合		
番号	質問		R7	R6	
11	学習と部活動の両立を目指して努力し、達成感や充実感を味わうことで、「やればできる」という自信と誇りの涵養を図っているか。	① 図っている	◎97	51.0	56.0
		② 概ね図っている		46.0	44.0
		③ あまり図っていない	3.0	/	
		④ まったく図っていない	0.0		0.0
12	学校行事では、「生徒ができることは生徒が行う」を第一とし、生徒の主体性の向上を図っているか。	① 図っている	◎94	57.0	65.0
		② 概ね図っている		37.0	35.0
		③ あまり図っていない	6.0	/	
		④ 図っていない	0.0		0.0
13	ふるさと教育を育むために「壱岐ならではの学び」を展開できているか。	① 展開できている	▼72	23.0	21.0
		② 概ね展開できている		49.0	68.0
		③ あまり展開できていない	29.0	/	
		④ 展開できていない	0.0		12.0
14	総合的な探究の時間の指導で、職員が探究の過程を意識して、地域・社会の課題解決や生徒の進路探究等の活動の指導を行うことができた。	① できた	◎86	9.0	9.0
		② 概ねできた		77.0	82.0
		③ あまりできていない	14.0	0.0	
		④ できなかった	0.0	9.0	
15	生徒支援の充実を図るために、積極的に研修に取り組んでいるか。	① 取り組んでいる	◎86	36.0	29.0
		② 概ね取り組んでいる		50.0	65.0
		③ あまり取り組んでいない	14.0	/	
		④ 取り組んでいない	0.0		6.0
16	生徒の登下校時の交通マナーは良いか。	① 良い	◎90	21.0	18.0
		② 概ね良い		69.0	82.0
		③ あまり良くない	10.0	/	
		④ 良くない	0.0		0.0
17	月1回設定されている「定時退校日」では、他の日と比べ定時退勤しやすいか。	① しやすい	◎93	48.0	46.0
		② 概ねしやすい		45.0	49.0
		③ あまりしやすくない	5.0	/	
		④ しやすくない	2.0		5.0
18	「節電・節水・節紙」について、意識しているか。	① 意識している	◎100	64.0	67.0
		② 概ね意識している		36.0	33.0
		③ あまり意識していない	0.0	/	
		④ 意識していない	0.0		0.0
19	離島留学生が安心して生活を送られるよう、しま親と連携を図り、支援しているか。	① 支援している	◎88	38.0	43.0
		② 概ね支援している		50.0	51.0
		③ あまり支援していない	12.0	/	
		④ 支援していない	0.0		5.0

※1 評価①+②が80%以上のものに◎、80%未満のものに▼を付しています。

※2 R6の欄に斜線が引いているのは、よりよいアンケート実施を目的として、R7アンケートから選択肢を変更したためです。

※3 四捨五入をしているため、合計が100%となっていない場合があります。

令和7年度学校評価<分析>

【1】全体概要について

◆生徒・保護者・教職員アンケートのいずれも評価平均値 85%を超える高評価であり、生徒評価は昨年度より上昇している。保護者評価は例年同様で、職員評価は下降した。

【生徒アンケート】

○例年同様の高評価である。

◇評価①+②合計の割合は、全 21 項目中 17 項目で 80%以上

◇全 21 項目平均値 **87.2%** (R6:86.0%)

【保護者アンケート】

○例年同様の高評価である。

◇評価①+②合計の割合は、全 18 項目中 17 項目で 80%以上

◇全 18 項目平均値 **88.6%** (R6:89.8%)

【職員アンケート】

○例年同様の高評価である。

◇評価①+②合計の割合は、全 19 項目中 18 項目で 80%以上

◇全 19 項目平均値 **89.6%** (R6:95.9%)

◇平均値下降要因について

選択肢の細分化による影響のため。本年度の回答選択肢に③を追加したため、回答者数について、②が減少した。※<例>を参照

令和8年度は、同じ選択肢での回答予定であり、経年比較ができると思う。

<例>

職員アンケート質問		選択肢		R7 (%)	R6 (%)
3	「主体的・対話的で深い学び」を各授業で実現し、主体的な「思考・判断・行動」を育む学びを行っているか。	①	行っている	29.0	29.0
		②	概ね行っている	66.0	71.0
		③	あまり行っていない	6.0	/
		④	まったく行っていない	0.0	0.0

<分析>~本年度の評価背景~

「一人ひとりが輝く、みんなが輝く、生き生き伸び伸び“壱岐高校”」をキャッチフレーズに、生徒を中心に置いた教育活動の推進に取り組んだ成果である。生徒・保護者・職員アンケートにおいて、生徒評価の平均値が上昇していることも、理由の一つと考える。

特に、生徒アンケートにおいて、「あなたは、生徒会が関わる学校行事を自身にリーダーシップとフォロワーシップが育ったと感じますか。」への評価が、75.6% (昨年度+7.3%) であり、80%には届かないものの、群を抜いた増加であった。教職員の支援のもと生徒会執行部を中心とした行事企画・運営が、生徒全体により影響を与えていることが伺えた。次年度は、各行事で生徒実行委員会を組織し行事運営する予定であり、生徒が主体的にかかわる枠組みづくりを加速させたい。

保護者アンケートでも、「壱岐高校生は、学校行事に意欲的に取り組んでいる。」が、97.8%の高評価であり、多くの生徒・保護者が本校の学校行事を通して、壱岐高校生が成長していると評価していることが伺えた。今後も、この高評価を維持できるよう、教育活動を推進していきたい。

【2】※評価①+②合計の割合が80%未満の項目について

[生徒]1「今年度4月から現在までの間に、図書館を利用した事がありますか。」(60.6%)

○令和6年度は68.0%(-7.4%)であり、高評価の基準としている80%に大きく届かない状況である。

キャリア支援部<分析>

- ◆来館者数は非常に多い(延べ2013人<1/9時点>)が、利用したと答えた生徒の割合は低い。「足しげく図書館に通う生徒」と「そうではない生徒」と二分していると考える。
- ◆昼休みに集合が多く、図書館に足を運ぶ時間がない。

<対応>

- ◇朝の時間に「読書WEEK」の新設を提案したい。また、その期間の前から「移動図書館」を実施してみる。詳細は今後検討だが、貸出のみを行い、返却時は図書館に来てもらえるように企画したい。また、毎学期末に督促状を出すことにも取り組みたい。(移動図書館実施に伴い、多数の未返却本が出ると想定されるため)
- ◇総合的な探究の時間で、授業での図書館の活用を促す。
- ◇入学後の校内研修で実施している「図書館オリエンテーション」を充実させ、新入生に対して、図書館をより身近に感じてもらう機会を設ける。

[生徒]14「あなたはこれまでに計画的自主的学習習慣を確立できましたか。」(68.5%)

○令和7年度からのアンケート項目である。自主的学習に不安を抱えている生徒が多いのが伺える。今後の対応としては、以下の3点を考えている。

1学年<分析>

- ◆中学校までの学習習慣に差がある。(面談から、生徒の家庭学習時間に差がみられる)
- ◆課題への取り組みに関して「提出すればいい」と考える傾向の生徒が一定数おり、課題提出がゴールになっている。

<対応>

- ◇今年度は生徒への声掛けのみで学習記録をとる等の具体的な取り組みは行わなかったため、生徒全員への十分な動機づけに至らなかった。今後はClassiにある学習記録機能を活用して、学級・学年で学習状況を共有するなど、新たな取り組みを通して家庭学習への動機づけを行いたい。
- ◇対外実力テストに向けては計画を立てさせたことは、一定の効果があつた。しかし、目標が明確でない生徒も一定数おり、支援が必要だと考える。まずは定期考査に向けて学習計画を立てる機会を設け、学習習慣の確立へとつなげていきたい。
- ◇習慣づけるために3点固定(起床時間・勉強開始時間・就寝時間)を徹底させたい。

2学年<分析>

- ◆フォーサイト手帳を活用できていないことが、学習習慣が定着しない原因の一つだと考える。
- ◆志望校が不明確であり、また、自分の学力レベルを認識していないため、志望校合格を目指すモチベーションが高まっていない様子が伺える。
- ◆勉強する意味を感じていない現状がある。学びを深める過程で、学習の楽しさや意義、必要性を感じさせるように働きかけたい。

<対応>

- ◇SHRの際、フォーサイト手帳とペンのみを机上に準備させ、メモを必ずとる習慣形成の支援を行う。
- ◇「志望校の入試問題に触れる」機会を設定する。目標を意識させ、達成するためには何をすべきか考えさせたい。
- ◇学習習慣が形成されていない生徒に対して、単に学習時間を伸ばすための呼びかけをするのではなく、専門学校の問題や入試制度(特待生制度)などの進路情報を提供し、学習へのモチベーションが向上できるように環境を整えたい。

[生徒]20「English の時間」を通して、以前より前向きに英語学習に取り組むようになりましたか。」(72.2%)

○令和7年度からのアンケート項目である。朝の時間の活動に充実感を感じていない生徒が一定数いるのが伺える。今後の対応としては、以下の3点を考えている。

総務部<分析>

- ◆8時10分から教員が生徒とともに「朝の活動」に参加できていない状況がある。生徒が自主的に取り組むことが理想だが、教員がつかない状況での効果的な朝の活動は無理があったのかもしれない。(勤務時間、朝会開始の時間の関係で支援体制が整っていない現状がある)
- ◆English central にログインできない、タブレットが不調など生徒の責任に依らない原因も一部ある。
- ◆まじめに取り組んでいる生徒が不利益を被る状況もありうる。(うるさくて集中できない、English の時間なのに別の課題をするなど)

<対応>

- ◇「English の時間」を「朝の時間」と改め、新年度4月からは、毎日、教員が様子を見回り、8時10分から静かな状態での朝の活動ができる環境づくりを支援する。活動内容は読書を含む自主学习とする。
- ◇毎日8時10分から8時25分の時間を学習に充てると、1日15分×5日×4週=300分/月確保できる。生徒の意欲が高まるような支援を学年集会等で行いたい。
- ◇教員も生徒の8時10分登校を前提とする指導を徹底する。特に4月は校門指導、下足棟指導、教室巡回を徹底し、初期指導に努める。

[保護者]9「壱岐高の進路指導(受験指導、情報提供等)に満足している。」(77.5%)

○令和6年度は80.2%(-2.7%)であり、微減であるものの、保護者・学校間での情報共有は重要なものであり、改善が必要であると認識しているため、以下の分析と対応を行う。

キャリア支援部<分析>

- ◆(1・2年生は、三者面談<7・12月年2回実施>の内容について)
 - 「保護者等の方々は、時間を割いて来校していただいている」や「三者面談の充実は、学校への信頼度を高めていただく重要な機会である」等の職員間での共通理解不足がある。
 - 学年団で、三者面談内容について事前に検討し、より充実したものにして行きたいと考える。

<対応>

- ◇次年度、学級担任が三者面談の日程調整の依頼をする時(事前)に、保護者等が「進路について気になること、聞きたいこと」を自由に記入できる欄を設けてもらい、三者面談時に学級担任から回答するようにする。学級担任が回答に困る場合は、キャリア支援部が学級担任を支援するようにしたい。
- ◇3年生に対しては、志望校検討会を通して、志望校合格のために強化すべき科目や重点的にやるべきことと、生徒が学びたいことができる学校や学部の提案を行っている。より具体底な提案や意見交換できるように、3学年と相談しつつ、キャリア支援部からの情報提供内容の充実を図りたい。
- ◇受験指導について
 - 志望校合格のためには、低学年時にいかに学力を上げるかということが重要であると考えている。令和8年度より、キャリア支援部と学年が連携して、以下の取り組みを行いたい。
 - 早期に学力・学習状況を把握し効果的な指導につなげるために、高1(4月)にスタサポを実施する。
 - 1年生・2年生における成績上位者へ指導する。(難関大合格への受験指導へとつなげたい)
 - 現1年生は寺子屋を通して難関大学志望者の集団づくり、意識の高揚がうまくいっているため、次年度も継続したい。
 - 授業力向上のために先進校視察を行い、職員が受験指導・支援のノウハウを学ぶ機会を設ける。
 - 定員が拡大している「年内入試」での合格者を増やすために、以下の取り組みを行いたい。

- ①職員全員の協力の下で指導ができていたため継続したい。
- ②志望理由が書けなかったり、面接でうまく言葉にできなかったりする生徒が少ないのが現状であるため、「表現力を高める指導・支援」いかに行うか考えなければならない。例えば、授業中に表現活動を増やしたり、AI をうまく活用して文章力を養ったりするなどの指導・支援を検討したい。

[職員] 13「ふるさと教育を育むために「壱岐ならではの学び」を展開できているか。」(72.0%)
○令和6年度は 87.0%(-15%)であり、大幅減である。大きな要因としては、前述の回答選択肢の増加によるものがあるが、「あまり展開できていない」と評価する職員が一定数いることが分かる。「壱岐ならではの学び」の展開については、壱岐島を愛する生徒育成にとって重要な教育活動であり、改善が必要であると認識しているため、以下の分析と対応を行う。

キャリア支援部<分析>

- ◆総合的な探究の時間において、探究テーマを「地域課題解決」につながるものにするようにしていたが、現2年生(79回生)からは、探究テーマをこれに限ったものとしていないため。(ただし、「地域課題解決」をテーマとしているグループは一定数います)
- ◆本年度の「総合的な探究の時間」を振り返ると、地域と関わる行事や活動もいくつかあった。例えば、1年生での「島内バスツアー」や2年生のいくつかのグループが「インタビューや訪問研修」といった行事が挙げられる。昨年度までと比較すると、地域とのつながりはそれほど強くはないように生徒には映っているのが原因であると分析する。

<対応>

- ◇地域の協力を得ながらやる部分もあるため、その都度地域とのつながりを大切に活動を行えるように支援・指導していきたい。また、地域をベースにした活動(例えばバスツアー)は今後も継続させたい。
- ◇「ふるさと教育」の中に盛り込むべき内容としては、地域と関わっていることすべてになると思う。例えば、「コースの研究活動や地域での活動への参加」、3年生の「インターンシップ」、「ヒューマンハート部の活動」が挙がる。これらの教育活動が、「壱岐ならではの学び」であることを、生徒と共に教職員全体で共有しつつ、学習支援を行いたい。

<壱岐高等学校>
令和7年度 学校評価アンケート(外部評価)集計結果

1 外部評価者(5名)

A	行政関係者
B	経済関係者
C	教育関係者
D	本校関係者(元PTA会長)
E	福祉関係者

2 評価項目(4段階)

4	とてもそう思う
3	そう思う
2	あまりそう思わない
1	そう思わない

3 結果

全体評価平均値 **3.7**

4 詳細

	質問項目	評価 (ABCDE 順)	評価 平均値
1	学校経営は、適切に行われている。	44334	3.6
2	学校は、積極的に地域との連携を図るように努めている。	44344	3.8
3	学校は、ホームページ等を活用し、教育活動の情報発信へ熱心に取り組んでいる。	44334	3.6
4	学校は、特色ある教育活動の推進へ熱心に取り組んでいる。	44344	3.8
5	学校は、授業や行事等を通して、生徒の成長を図っている。	44334	3.6
6	学校は、安心・安全への配慮、風紀を保つ等の生徒支援へ熱心に取り組んでいる。	44334	3.6
7	学校は、生徒の進路実現のために熱心に取り組んでいる。	44334	3.6